

スペイン・マドリッドでの生活を振り返って

山口市立小郡中学校 非常勤講師 安岡 義郎
(平成 23 年度派遣 スペイン マドリッド日本人学校)

1. はじめに



私は、昭和 63 年より 3 年間、アメリカのシカゴ日本人学校に赴任しました。その体験を生かし、管理職として、再度の海外派遣に挑戦しました。その 2 度目が、スペインのマドリッド日本人学校でした。

2. マドリッド市

スペインの首都マドリッドは、太陽の恵みを受け、サッカー、闘牛、フラメンコなどに代表される情熱的な人々の住んでいる街です。

また、石畳の続く街中には、王宮や様々なモニュメントや美術館などが立ち並んでいます。

16 世紀から首都として栄えてきたこの街は、600 万人以上の人々が暮らす、政治と経済の中心地、そして国際都市でもあります。



市街地にある市役所

3. マドリッドの気候

6 月頃までは、雨と晴れ間が入り交じりますが、その後は、30 度後半から 40 度近い日差しが降り注ぎます。しかし、湿度が低く、木陰に入るとひんやりします。また、2 か月近く雨が降らなくても、スプリンクラーが朝や夕に活動しており、街路の多くの緑が我々の心を和ませてくれます。

4. スペイン人の一日

スペイン人の生活帯をみますと、日照時間からきていると思われるところが大です。夏の最盛時間は 22 時頃に日没となります。そのためか、夜の 9 時を過ぎても子どもの遊ぶ声がします。日没が遅い分、夜明けも遅く、私が出勤する 7 時頃は暗闇の中です。

夕食が午後の 10 時頃で、朝のラッシュは、9 時頃のように 11 時頃におやつタイムで、昼食は 2 時頃が多いようです。企業も、午後 2 時～4 時頃に休息をとるところが多く、レストランは、16 時頃に一旦閉め、20 時 or 20 時半になって、夜の部が開店します。日本の生活時間帯で対応すると、無理が生じてきます。



朝 7 時はまだ暗闇(9 月)

5. スペインの食べ物



イチジク

食べ物は、パンが主食ですが、米や海鮮を用いた食材も多く、我々日本人の味覚にはピッタリの感がします。中でも、パエリアは日本人にも人気があり、種類も 10 種類近くあります。また、オリーブオイルやワインは世界にも名だたる産地として、その専門店も多く見受けられます。更には、果物も種類が多く、たくさんの豊富な品数が店先を飾っています。例をあげると、イチゴ、イチジク、メロン、スイカ、桃、柿 …… イチジクや柿はちょっと意外でした。

6. スペインの集合住宅

私が住んだ居住宅は、「ピソ」といわれる集合住宅で、我が家は、その最上階の4階にあり、屋根までの屋上部分も居住空間として建築してあるため、4階にある2階屋の感じです。1階は主に日々の生活に使用し、2階は、客室と普段使用しない物の物入れにしていしてました。



手前右の最上階が我が家

私の住んでいた「ピソ」の周囲は、集合住宅が多くありましたが、それぞれのピソ毎に囲いがしてあり、安全のためのセキュリティーが2重・3重にしています。

7. スペインにおける治安

前述のセキュリティーに繋がることですが、全般として、日本に比べ、治安が悪いので、用心に用心を重ねることが大切です。街中はもちろんですが、レストランなどでも物を置いて離れないことが大切です。わずかの時間でも、置き引きにあった例を何度も耳にしました。ショルダーバッグ等も、前側にぶら下げ、手で押さえるくらいの用心さが必要です。

また、治安に関連することでもありますが、公園等も含め、公衆トイレの無さにびっくりします。わずかに大きな駅の構内にある程度です。したがって、レストランやちょっとしたカフェ等を利用した時には、必ずトイレを済ませることを心がけておくことが大切です。なお、有料駐車場の施設内やカフェの中のトイレはセキュリティーが掛かっているため、利用者でないと入れない仕組みになっているので、注意が必要です。

8. スペインの車

大部分の車がマニュアル車で、左ハンドルの右側通行ですから、慣れるまで、かなりの時間を要すると思います。また、右折・左折の多くは信号でなく、ロトンド（ロータリー）で曲がります。それも、2～3カ所の出口は普通で、中には、5～6カ所のところも多くあります。更には、日本と異なってる



歩道→ロトンド

点として、横断歩道が盛り上がってることです。したがって、車体のバウンドを防ぐためにも、必ずスピードを落とさないといけません。これは、ある意味、横断歩道に注意するということにも繋がっているようでした。

9. スペイン語

マドリッドでの生活で最も苦勞したのは、言葉(スペイン語)でした。街で出会う見知らぬ人も笑顔で挨拶をくれますが、「Hola!」と返す程度で、随分失礼な対応であったことを恥じています。何とか、日常の基本的な挨拶と数字が発せられるようになるのに、半年はかかりました。 ※次ページ参照

10. おわりに

スペイン語を中心に、苦勞も多かった2年間のマドリッド生活でしたが、今、こうして振り返ってみますと、普段では味わうことのできない生活を送ることができました。可能であれば、もう1度住んでみたい、心に残る場所です。

(※2011年から2年間の内容)

(参考資料) 日常の基本的な挨拶と数字

こんにちは おはよう さようなら はじめまして 元気？ 元気だよ ありがとう どういたしまして すみません いくらですか？ (トイレは)どこ？	Hola! Buenos dias Adios Mucho gusto Como esta? Bien, gracias Gracias De nada Perdon Cuanto cuesta? Donde esta (el servicio)?	オラー ブエノス ディアス アディオス ムチョ グスト コモ エスタ ビエン グラシラス グラシラス デ ナダ ペルドン クアント クエスタ ドンデ エスタ
数 字	1 uno ウノ 2 dos ドス 3 tres トレス 4 cuatro クワトロ 5 cinco スインコ 6 seis セイス 7 siete スイエテ 8 ocho オチョ 9 nueve ヌエベ 10 diez ディエス	11 once オンセ 12 doce ドセ 15 quince キンセ 20 veinte ベインティ 100 cien スイエン



入学式



卒業式



3.11の追悼式(スペイン大使館にて)



居住地近くのスーパー



日本人会主催の盆踊り(会場は日本人学校)

※どなたでも参加可

マドリッド便り

NO. 4 平成23年 9月

Yoshiro & Nobuko Yasuoka
C/Murillo, 5, 3^o-A
28222 Majadahonda Madrid
Espana

Tel +34-91-485-9632

Email yasuoka0828@yahoo.co.jp

マドリッド日本人学校の様子 (一学期) その1

新年度のスタート 4月11日(月)



入学式

校庭の芝生の緑も輝きを見せてくれていた4月、在スペイン日本国大使館附属マドリッド日本人学校の平成23年度がスタートしました。児童生徒数12名(小学部9名、中学部3名)、派遣教員8名、現地採用教職員5名の大変小規模な学校です。

本校は、今年創立30周年を迎えています。創立時は、商社を中心とした日本からの進出企業も多く、児童生徒も200名近



入学式当日の記念写真

くいました。学校は、日本企業でつくられている「水曜会」の企業の子どもたちのために設立されたものです。広大な敷地に建てられている100年近い石造りの建物(地上3階、地下1階)を小学部棟及び本館とし、購入後に新たな施設として運動場、体育館、中学部棟などが新設並びに整備されています。しかし、バブルの崩壊後、企業の撤退や縮小が相次ぎ、それに伴って児童生徒が減少しています。

今年度の児童生徒は始業式以後数名の出入りがあり、9月16日現在、小学部11名、中学部2名の13名で日々の学校生活を送っています。

チャリティコンサート 6月4日(土)



一瞬にして多くの犠牲者と共に跡形もない悲惨な姿となった3月11日の「東日本大震災」。今、母国日本はこの未曾有な状態から、確実に復興へ向けて大きく動いています。その大きなうねりに、遠い地からではありますが、私たちの思いを少しでも届けたく、現地のギター演奏者と忍術の会のお手伝いをいただき、『チャリティ・イベント』を行いました。児童生徒も自分たちの出来ることを授業や授業の合間に準備をし、当日は来場者の誘導や募金活動等で参加をしました。

お陰をもちまして**多くの方の善意**をいただくことができました。



ギター演奏

運動会 5月22日(日)

抜けるような青空の下、多数のご来賓並びに保護者や当地在住の皆さまのご来場をいただき、実施することができました。少人数ゆえ、保護者を交えての赤白に分かれた戦いとなりました。学校側の立場として、特に次の2点を強く感じました。



白団の児童生徒と保護者

①来賓や地域等の外部からの来場が大変多く、競技にも積極的に参加され、共に盛り上げていただいたことは、今後の本校の更なる発展に繋がることと確信できました。中でも、補習校からの参加が例年以上に多く、これからの緊密な連携に明るい見通しを抱きました。

②人数は少なくても、団結すると素晴らしい力になることを実証してくれた子どもたちの素晴らしい力に大きな感動をもらいました。更には、中学生は小学生を温かく見守り、小学生は中学生の指示を安心して任せている。こんな家族のようなマドリッド(マドリッド日本人学校の略称)の姿が随所に見られました。



赤団の児童生徒と保護者

宿泊体験学習 6月8日(水)～10日(金)

晴天の中、実りの多い2泊3日の体験学習を送ることができました。“自然とも**絆**とも**絆**を深めよう!!”をスローガンに、スペインの自然と親しみながら仲間との繋がりが更に濃くなった3日間でした。



参加者と指導員

子供たちは、やがて社会へ飛び立っていきます。そのときに適応できるための力を身に付けるための学習として、このような体験学習は重要視されてきています。学校を離れ、また、親元を離れての宿泊ということで、保護者の皆様も心配されたことと思いますが、子供たちはこのような学習を通し、大きな成長をしていきます。仮に失敗があっても、そこから「生きる力」が養われてきます。不自由と感ずるところから知恵が生まれ、仲間の力を借りようとしてきます。困ってる人を見て、声を掛け、支えてあげようとしてきます。そういう姿が随所に見られた宿泊学習でした。



4.6 今年赴任の4人(バラハス空港)



4.11 着 任 式



5.22 運動会;参加した地域の子ども



5.22 運動会:児童生徒のキッズ・ソーラン



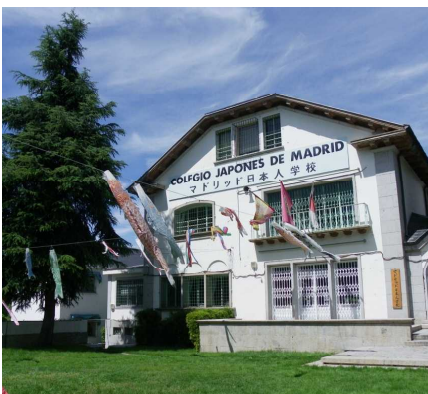
5.8 宿泊体験学習の1コマ



5.10 宿泊体験学習の1コマ



5.9 宿泊体験学習の1コマ



五月晴れの中泳ぐ校庭の「鯉のぼり」



ホールに飾られた「かぶと」



青空の下、校庭でのランチ今

マドリッド通信

NO.4

平成24年 7月20日
在スペイン日本国大使館付属
マドリッド日本人学校

文責 安岡 義郎

～ 1 学期 を 終 えて ～

4月12日に平成24年度がスタートして以来、1学期も大過なく最終日を迎えることができました。これもひとえに保護者の皆さまを始め、様々な関係機関の方々の日頃からのご協力並びにご支援の賜と思っております。この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。

今年の1学期は、9名の短期入学生を迎え、例年になく活気ある子どもたちの姿を随所に見ることができました。そんな中、運動会や宿泊体験学習などの行事を通し、子どもたちは確実に成長をしています。身体はもちろんですが、日本人としての相手を思いやる心や周囲の様子から自分の言動を考える姿勢、また自分の意見を発表する姿などは顕著な成長といえると思います。

ところで、私は今学期の始業式で「節目」についての話をしました。私たちの生活には、色々なところに節目があり、その節目に差ししかかったとき、反省をしながら次のステップへの目標を定めていきます。したがって、その節目を大事にする人は、その後の成長も素晴らしいものがあります。小中学生にとって、学年の変わり目や学期の始め及び終わりは、最も大きな節目といえます。そういった意味からも、お子さまにとって、この学期の終わりは次への段階へ向かう絶好の機会です。今日の1学期の締めくくりとして、ご家庭でも、今学期の成果と次なる目標についての話し合いの場をもってほしいと思います。そして、そのことが、明日からの長期休みに繋がり、更には、2学期からの新たな土台となることを願っています。



「八丈太鼓」の皆さんとの記念写真

～ 体験入学 終わる ～

38名の新しい仲間を迎えて始まった4週間にわたる「体験入学」も今日で終わりとなりました。この期間、体験生の皆さんは、日本の文化や様式に触れながら、沢山の思い出ができたことと思います。スキー教室や水泳大会でのマドリッドとの交流、盆踊り大会や七夕集会等での日本文化の体験など、わずかの期間にもかかわらず、多くの「日本」を全身で浴び、より「日本」が身近に体感できた体験入学だったと思います。是非、来年も本校の門をくぐって来てほしいと願っています。教職員一同、心待ちしています。



体験初日の集会



体験2週目の集会

マドリッド生と体験生との交流行事

・ スキー教室 (7月6日)

マドリッド生も体験生も毎年楽しみにしているスキー教室が今年も行われました。「スキーは初めて」という子も沢山いましたが、子どもの力はすごいものがあります。指導員に1～2回ついてもらった後はす～いすい。友達同士、声をかけ合いながら気持ちよさそうにすべっていました。暑い日が続いている中、束の間の涼を味わうことができた一日でした。



(上左より)小学部1・2年、3・4年、5・6年、中学部

・ 水泳大会 (7月20日)

1学期の最後を飾る行事として、多くの保護者の皆様のご声援をいただきながら、水泳大会が昨日開かれました。児童生徒は、この大会のために自己の目標を設定し、取り組んできました。この大会のねらいでもある、マドリッド生と体験生との交流を、一人ひとりがしっかり受け止め、更には、各自が自己の目標に向けてのベスト更新を目指し、その力を発揮してくれた大会となりました。



「カジキ」チーム



「サメ」チーム



「〇〇〇」さんの閉会の言葉



「〇〇〇」くんの閉会の言葉

日 本 文 化 の 体 験

・七夕集会 (7月5日)

子どもの夢を育む日本の伝統的な文化の1つに「七夕」があります。



願いを込めて…

夢や願いを短冊に書き、笹に結わく行事です。マド日でも、児童生徒の願いを記した短冊を笹の葉に結び、ホールに立てかけていました。それぞれの願いが成就することを祈っています。



七夕の前で(小学部)



七夕の前で(幼・中学部)

・八丈太鼓 (7月17日)

日本の芸能文化である「八丈太鼓」の方々が、この度、その技の披露や継承を



迫力のある演技

目的に、当地マドリッドへ来られました。縁あって、本校にもお越しになり、子どもたちにワークショップをしていただきました。子どもたちも熱心に取り組み、楽しい時間となりました。最後に、模範演技も披露していただき、その迫力ある演奏に、思わず酔いしれてしまいました。

・盆踊り (7月15日)

夏の「風物詩」でもある盆踊りが本校を



エイサーの演技

会場に開催されました。1300余名もの来場者があり、国際色豊かで活気に満ちたお祭りとなりました。本校の子どもたちも、小学部1～5年生の「エイサー」と「盆踊り」、6年生と中学部の「和太鼓演奏」で参加をし、大会を盛り上げてくれました。



和太鼓の演奏

中学部の行事 から

〈期末テスト〉

日本人学校は、日本の学校と同じ教科書を用い、同じ教育課程の編成をしています。



したがって、学期の終盤には、テストを受ける中学部の4人その学期のまとめをするときでもあります。中学部では、そのまとめとして、**学期末テスト**を実施します。本校の1学期の期末テストは、6月21・22日の2日間、国語・社会・数学・理科・英語の5教科を行いました。

このテスト期間中は、中学部の皆さんにとって、精神的に追い詰められた毎日だったようです。

〈幼児体験学習〉

日本の中学校では、キャリア教育の一環として、幼稚園の訪問や幼児との触れ合い学習があります。



幼児との触れ合い

マド日には、幼児が体験生として入学しているこの時期に、幼児との触れ合い学習を実施しました。

6月29日と7月13日の2回にわたり、短冊作り、本読み、紙飛行機作りなどで触れ合いをもちました。中学生にとっても初めての体験で、事前の準備から色々と工夫をして臨んでいただけに、とても貴重な体験となったようです。

【お知らせ】 今学期をもちまして、スペイン語担当の「アナ」先生が本校を退職されました。これまでのご指導に感謝申し上げます。



アナ先生

【 8・9月行事予定 】

日	曜	行事内容
8/27	月	※夏休み最終日
28	火	始業式 中学部実力テスト マド日(ペース走)
29	水	夏休み作品展(～9/16)
30	木	代表委員会
31	金	
9/1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	忍術
7	金	部活動 剣道
8	土	
9	日	聖マリア・デ・ラ・カベサの日
10	月	
11	火	
12	水	ボカディージョ・ランチ
13	木	マド日(ペース走) 忍術
14	金	部活動 剣道
15	土	
16	日	家族参観日
17	月	振替休業日
18	火	マド日(ペース走)
19	水	
20	木	忍術
21	金	部活動 剣道
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	マド日(ペース走) 代表委員会
26	水	
27	木	忍術
28	金	中学部職場体験 部活動 剣道
29	土	
30	日	

マドリッド通信

NO.11

平成25年 3月 8日
在スペイン日本国大使館付属
マドリッド日本人学校

文責 安岡 義郎

一年間、大変お世話になりました そして ありがとうございます



校庭のアルメンドロ

自然界に目を向けますと、春の装いが感じられる頃となってきています。校庭のアルメンドロも、淡いピンクの花を開かせ、私たちの心を温かく癒してくれています。

一年の経つのはほんとうに早いものです。つい先だって小・中学部の新入生をそれぞれ迎え、平成24年度がスタートしたと思うまもなく、今年度も残り1週間となりました。

この一年間を振り返りますと、子どもたちは、本校の3大イベントである「運動会」、「宿泊学習」、「文化祭」を始め、全校での社会見学、小学部の施設訪問や現地校との交流会、中学部の職場体験学習等々の行事をこなしてきました。また、日本人会主催の「盆踊り大会」や「餅つき大会」への参加なども通し、一人ひとりが確実に成長してきています。身体はもちろんです、考え方や感じ方にも大人への歩みが見られています。

子どもたちも、それぞれの学級で、この一年間の成長を、文章等で表現しています。保護者の皆さまも、是非じっくりとその足跡をご覧ください、それぞれのお言葉で祝ってあげてほしいと思います。それが、新年度への新たなエネルギーになると思っています。その時に大事なことは、この際ということで、あれもこれもと欲張るのではなく、2つか3つ位にポイントを絞ってのお話しが大切であるかと思っています。マド日の全てのお子さまたちが、今年の成長を糧に、次の段階へ羽ばたいてくれることを切に願っています。

まもなく、それぞれの学年が無事に終了しようとしています。このことは、ひとえに保護者の皆さま並びに地域の関係各位の皆さま方の日頃からのご協力・ご支援の賜とっております。改めまして、感謝申し上げます。ありがとうございました。そして、この一年間、大変お世話になりました。

私たち教職員も、それぞれ一人ひとりが課題を明らかにする中で、来年度の指導にあたる覚悟です。新年度も、今年度と変わらぬご理解・ご支援をよろしくお願い申し上げます。



卒業式の練習

「卒業式」まで一週間となりました。マド日タイムの時間を中心にしなが、その練習にも力が入ってきています。



練習風景

中でも、小5と中1・2の5名の「はばたけ未来へ」の実行委員は、要所、要所での指示伝達などに余念がなく、素晴らしい活躍をみせてくれています。

音楽の時間に練習している式歌の合唱が、この校長室にもしっかり届いており、当日へ向けての意気込みが伝わってきています。また、在校生から卒業生へ贈るメッセージもスムーズにいくようになってきているようです。そんな在校生の想いが、本番でしっかり出せることを願っています。



練習風景

児童生徒全体会

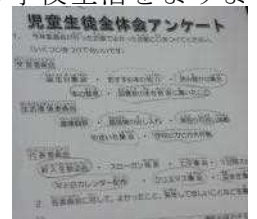
2月14日(木)

今年一年間の各委員会(学習委員会、生活環境委員会、代表委員会)の活動を振り返りながら、次年度の活動への橋渡しをすることを目的として、全体会が開かれました。

後期の委員長からの活動報告と、それぞれの委員からの思い出に残った活動や成長した点などが発表されました。委員会は、自分たちの学校生活をよりよくするためにあります。そのために頑張ってくれた今年度の各委員の皆さんへ拍手を送ると共に、来年度の更なる健闘を願っています。マド日の活性化のためによりしくお願いします。



生活環境委員会



アンケート

中学部期末テスト 2月21・22日(木・金)



中学部の5人

日本では「学年末テスト」とも呼ばれていますが、先月末の2日間、中学部の生徒が、今年度最後の定期テストに臨みました。生徒のテスト前の計画的に取り組んでる姿を目の当たりにし、この1年間の成長を感じました。このテストの結果を大事にし、これからの自分に繋げてほしいと思います。

中学部「剣道」



アスン先生と切通先生

本校では、2月の中旬より「剣道」を行っています。その講師として、現地の有段者であるアスン先生をお迎えしています。アスン先生は、20年位前に日本へ行く機会があった際、偶然、その時の知人の誘いで剣道にのめり込むことになったそうです。今は、毎週金曜日の夕方、本校の体育館で「剣道教室」をされており、日本人だけでなく、スペイン人も参加しています。

中学部の生徒は、この剣道の授業を通し、技術の他に精神面での勉強にもなっていると



剣道の授業より

部活動・全校体育



全校体育でのフットサル

ここマドリッドでは、安全面という点から放課後の課外的な活動が取りにくいいため、どうしても日本の子どもたちに比べ、体力が心配されています。そこで、金曜日の放課後に「部活動」を、マドリッドでは「全校体育」を実施してきました。競技種目は、施設・設備の面での制約があるため、色々と工夫をしています。

その部活動も、先月の22日で今年の最終日となりました。この日は、子どもたちに人気のフットサルで汗を流していました。最後は、みんなで1年間の振り返りもしました。



部活動の振り返り

ひな祭り

3月3日は女の子のお祭りの「桃の節句」です。それに合わせて、小学部1・2年生の生活科の時間に、3人の児童がホールにお雛さまの飾り付けをしてくれました。ああでもない、こうでもないと言いながらも、楽しいひとときを送っていました。(6日には片付けられました)



小学部1・2年生

マドリッドに雪が…… 2月26日(火)



雪の観察

春になりきる前の寒さと暖かさが入り交じる一時期を「三寒四温」と言っていますが、2月はまさにそんな感じでした。上旬の寒さが一転して、中旬は温かい日々が続きました。このまま春を迎えるのかな?とと思ってた矢先、下旬は寒気が押し寄せてきました。昼間でも5度前後の気温が続き、奥に仕舞ってたコートを手放した人も多かったのではないのでしょうか。そんな中、久しく見られなかった積雪があり、子どもたちを喜ばせてくれていました。早速、小さな雪だるまを作ったり、雪玉で遊ぶ姿が私たちの目に微笑ましく映りました。また、授業では、雪の結晶の観察もしました。こうした突然の変化に対応できるのも、小規模のマドリッドならではの特徴といえます。

安全面での取組



本校はご存知のように、築百年を経過している建物です。そのため、各所に不具合が生じているのが現状です。予算と照らし合わせながら、計画的に補修等の工事を行っています。最近の大きな工事としては、体育館の屋根の補修、馬小屋の撤去などがあり、今年は2階の手すりからの落下防止用のネットの設置とプールの壁面の補修を手がけました。これらの工事には、日本の外務省からの補助金をいただくことができ、大変助かっているところです。



プール壁面工事

また、本館から中学部棟へ移動するところの扉を、新たに付け替えました。見通しがきき、小さい子どもでも容易に開ける軽いものとなりました。



ドアの設置

【お知らせ】

平成25年度の始業式並びに入学式は、4月10日(水)を予定しています。